

平成 2 9 年度
商店街通行量調査
結果報告書

平成 3 0 年 3 月
熊本市・熊本商工会議所

はじめに

現在の国の経済情勢については、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いております。県内経済においても、平成28年熊本地震の影響が一部に残るものの、個人消費や生産活動は緩やかに回復しており、改善傾向が見られる一方で、雇用情勢については人手不足感が高まっている状況です。

このような中、商店街を取り巻く環境は厳しく、郊外大型店等の出店をはじめ、インターネットショッピングの普及など、小売業全体における競争が厳しさを増しております。また、人口減少や少子高齢化等の問題に加え、商店主の高齢化や後継者不足といった様々な課題を抱えている状況にあります。

加えて、平成28年4月に発生した熊本地震により、アーケード等の共同施設や店舗等が被災し、通行量や売上げ等に甚大な影響を及ぼしました。未だ、震災前の水準に回復していない商店街も多くみられます。本市としましては、震災復興計画に基づき商店街の復旧・復興へ向け全力で取り組みを進めているところです。

商店街の活性化を検討する上では、震災による影響を踏まえつつ、従来の商業集積地・消費地はもとより、住民の交流拠点・憩いの場としての機能、防犯や防災等の自治活動の主体・地域コミュニティの担い手としての役割の重要性が高まっていることを踏まえ、ニーズに応じた実効性のある取り組みにつなげることが大切です。

本調査は、市内主要商業地の利用状況の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に資することを目的に、昭和43年から実施しているものです。

平成29年度は、10月20日(金)・10月29日(日)に市内37地点において調査を実施しました。

その調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたしますとともに、本調査にご協力いただきました商店街並びに関係者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

平成30年3月

熊 本 市

熊本商工会議所

目 次

調査の概要

1 . 調査の目的	1 P
2 . 実施機関	1 P
3 . 調査日時	1 P
4 . 調査対象	1 P
5 . 調査方法	1 P
6 . 調査地点	1 P
(1) 調査地点	1 P
(2) 調査地点名の変更	1 P
7 . 平成 2 9 年度調査地点一覧	2 P
8 . 調査地点図	3 P

調査結果の概要

1 . 調査結果の前提	4 P
2 . 調査日時	4 P
(1) 本調査	4 P
(2) 補足調査	4 P
3 . 調査日の天候	5 P
4 . 前回調査以降の主な動き	5 P
5 . 調査結果	5 P
(1) 全体の通行量	6 P
(2) 中心商店街の通行量	6 P
(3) 熊本駅の通行量	7 P
(4) 地域商店街の通行量	8 P
6 . 補足調査結果	9 P
7 . 地区別概要	1 1 P
(1) 中心商店街の地区別概要	1 1 P
(2) 熊本駅・地域商店街の地区別概要	1 3 P
(3) 通行量上位地点ランキング	1 5 P
8 . 各地点の調査結果と平成 2 8 年度調査結果との比較	1 6 P
9 . 進行方向別通行人数	1 7 P
1 0 . 過去の調査結果一覧	1 9 P
1 1 . 各調査地点の通行量詳細	2 5 P